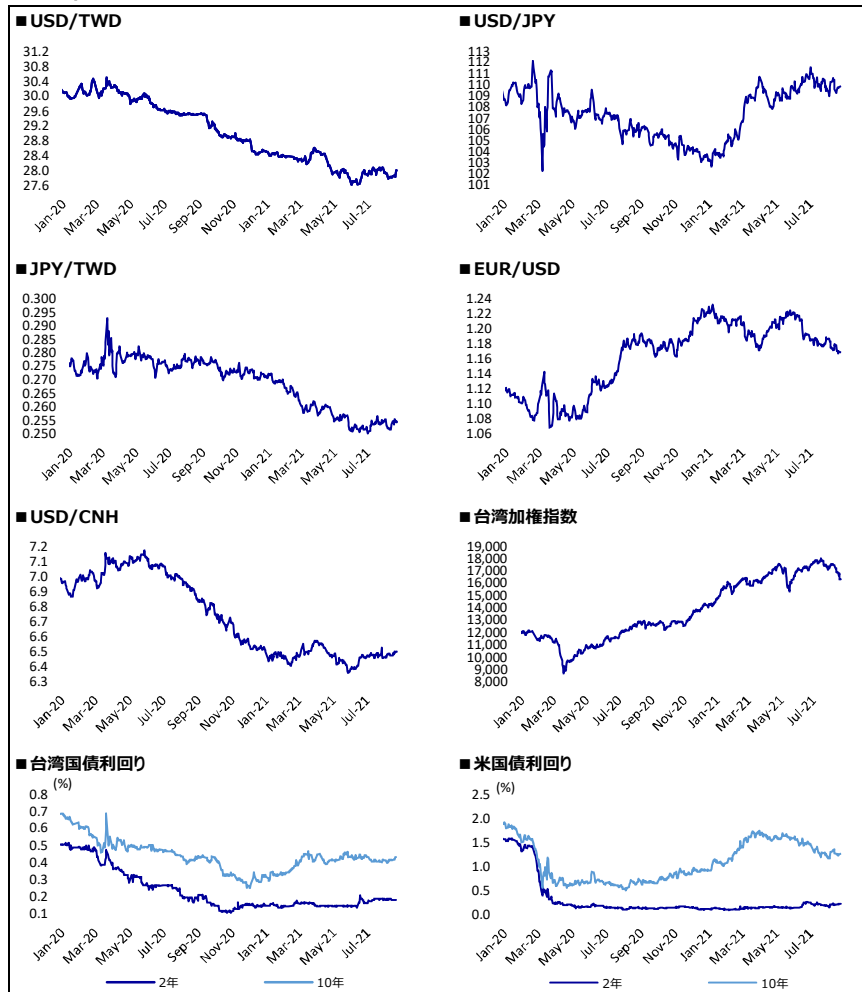


市場動向



先週の市場動向

■ USD/TWD
先週のドル/台湾ドルはリスクオフモードの流れから上昇。週初8/16は27.830でオープン後、前週末のドル全面安の流れから27.81付近まで下落するも外国人投資家が先週末に株を大きく売り越していたこともあり、台湾ドル売りが優勢に。しかし、27.85付近で輸出企業のドル売りが入り上値は押さえられた。8/17は中国経済の減速やアフガニスタン情勢、新型コロナウイルスの感染拡大とリスクオフモードが漂う中、台湾株が下落するとドル買いが優勢となり27.87付近まで上昇したが、再び輸出企業のドル売りに上値が押さえられる形に。8/18は27.90付近でオープンしたものの、連日下落していた台湾株が反発し、一時27.810まで下落。8/19は台湾株が再度下落に転じたことから、台湾ドル売りが優勢となり、27.97付近まで上昇。8/20も外国人投資家の台湾ドル売り圧力が強く、28台に乗せたが、輸出企業のドル売りも入り27台に戻したものの、引けにかけては再び台湾ドルは売られ一時28.014まで上昇。最終的には先週比0.5%ドル高台湾ドル安の28.008で先週の取引を終了。週間の外国人投資家の株式売り越し額は685.1億台湾ドル。

■ USD/JPY
先週のドル/円は上昇。週初8/16は109.60でオープン後、前週のドル安の流れが継続し109円台前半まで下落したが、ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を大幅に下回ると、米金利の低下と共に一時109.12まで下落。8/17はリスクオフの流れの中、安全資産としてドルも円も買われ動意に乏しかったが、アフガニスタン情勢やデルタ変異株の感染拡大、中国経済の減速への懸念から米株が大きく下落すると安全資産としてドルが買われ109円台後半はまで上昇。8/18はFOMC議事録の発表を前に調整の動きから110円台に乗せたが、議事録の内容はタカ派とはならず、期待していた市場参加者からは失望され、米金利は下落、ドル円も109円台後半に下落。8/19はフロー主体で110.22まで上昇したものの、米金利の下落につられてドル円も下落。8/20は軟調な日経平均につられて109円台前半はまで下落したが、その後米金利の上昇につられて戻し、最終的に先週比0.2%ドル高円安の109.79で先週の取引を終了。

今週の見通し

■ USD/TWD 予想レンジ：27.800-28.020
先週も軟調な台湾株につられる動きとなったが、リスクオフモードは完全には払拭しきれていない状況にある。しかし、今週は月末に近づいていることもあり、輸出企業のドル売りから上値は重い展開となるであろう。

■ USD/JPY 予想レンジ：109.00-111.20
今週は8/27にジャクソンホール経済シンポジウムのパウエルFRB議長の講演を控えている。注目イベントを前に様子見相場となるであろうが、ポジション調整の動きには注意したい。また、テーパリング期待が高まっているだけに、パウエルFRB議長が具体的な内容に踏み込まなかった場合は期待剥落からの下落となるであろう。

今週の予定

8/23 (MON)	台湾7月失業率、台湾7月鉱工業生産、米7月中古住宅販売件数
8/24 (TUE)	米7月新築住宅販売件数
8/25 (WED)	米7月耐久財受注
8/26 (THU)	米2Q GDP改定値
8/27 (FRI)	米7月個人所得、米8月ミシガン大消費者信頼感指数、ジャクソンホール経済シンポジウム

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。